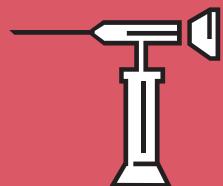


ろうさいラウンジ

—労災病院の理念—
勤労者医療と地域医療の中核病院として、
患者様中心の安全で安心な質の高い医療を提供します

鼻

から入れる内視鏡検査を
ご存知ですか？



内視鏡検査は「苦しいから嫌だ」という声をよく耳にします。自分で受けてみても確かに苦痛です。検査後にもう当分やりたくないと思うのも無理からぬことです。

日本の胃癌は減少傾向にありますが、罹患率は人口10万人あたり82人とまだ高率です。このうち早期の胃癌は胃透視（バリウム検査）では見つけにくいため、どうしても内視鏡検査が必要になります。

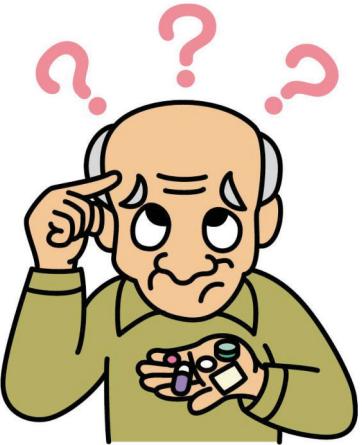
『内視鏡検査は何故苦しいのか？』それは、内視鏡を口から挿入した場合、舌の根元を押さえることになり嘔吐反射が起きるからで

す。一方、鼻から入れる内視鏡検査では、舌に触れることなく食道に直接入れることができます。内視鏡の太さも経口内視鏡の9.4mmに対し経鼻内視鏡では5.9mmと細くなっています。

『鼻から内視鏡を入れる』と聞くときょつとする人が多いのですが、ものは試し、一度受けてみませんか？本当に楽ですよ。受けた本人が保証します。

おくすりの話

～こんなときにはご相談を～



「副作用」ってどんなこと？

くすりには「主作用」と「副作用」があります。くすりは、からだの中の必要なところで効果的に働くだけでなく、その他のいろいろなところに影響をあたえることがあります。

病気に対して効果的に働く作用を「主作用」とよび、逆に目的以外の好ましくない作用を「副作用」とよびます。

くすりを飲んでいるときに、「なにか変だな」と思ったら、副作用かもしれませんので、かかりつけの医師や薬剤師に相談しましょう。

くすりの相互作用 (のみあわせ)について

2種類以上のくすりを同時に服用した場合、くすりとくすりがお互いに影響し、体内でのくすりの効き目が変化することがあります。これを「くすりの相互作用」といいます。

いくつかの診療科の診察を受けるとき、又は他の病院にかかり処方されたくすりがあるときは必ず持参し、医師、薬剤師にお伝えください。

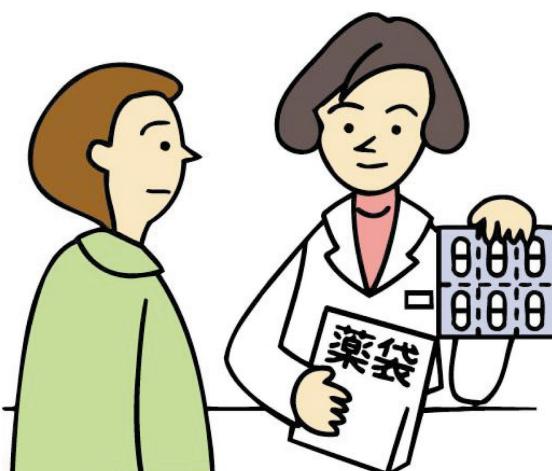
くすりと食べ物による のみあわせについて

たとえば、ワルファリン（血液を固まりにくくするくすり）と納豆で、ワルファリンの作用が弱められます。くすりによっては、このように注意を要する食べ物があります。個々のくすりについて詳しいことは、薬剤師にご相談ください。

サプリメントについて

ビタミンやミネラル、食物繊維、ハーブなど、たとえ錠剤やカプセルの形をしていても、これらは栄養を補助する食品です。

病気を直接治療する「くすり」ではありません。なかには飲み合わせに注意が必要な場合がありますので、薬剤師にご相談ください。



「ジェネリック医薬品」とはどんな薬ですか？

医薬品は薬局で処方せんなしで購入できる「一般用医薬品（大衆薬、OTC 薬）」と医師の処方せんが必要な「医療用医薬品（処方せん薬）」のふたつに分けられます。

さらに「医療用医薬品」には、新薬（先発医薬品）とジェネリック医薬品（後発医薬品）とがあります。

医療用医薬品

新薬
(先発医薬品)

ジェネリック医薬品
(後発医薬品)

ジェネリック医薬品と上手につきあうために

ジェネリック薬品のご利用には、医師の処方箋により、薬局での調剤が必要です。

また 2006 年 4 月からは、患者様のご希望により、ジェネリック医薬品を選んでいただけるように、処方せんの様式が変更になりました。

くわしくは、当院薬剤部または普段ご利用されている薬局にご相談ください。

(薬剤部：金澤 淑江)

補聴器外来について

若い頃のように～出来なくなった。昔は～だったのに…。というお話しを外来でもよくみかけます。人間誰しも老いがやってきます。聴力も感覚細胞の老化で徐々に聞こえにくくなっています。残念ですが仕方のないことです。



現在聴力を改善する方法として、ほとんど聴力を失った方々には人工内耳などの特殊な治療法がありますが、加齢に伴う難聴には、やはり補聴器に頼らなければならないのが現状です。難聴にも程度の差があり、例えば会議中のみ不自由を感じる方もいれば、常時周囲の方々との会話が困難な人もいます。その人その人に合った補聴器を装着する事が大切と考えます。

当院では毎週水曜日に14時30分より補聴器外来をもうけ、補聴器のタイプの相談や試聴（無料で1～2週間の試し聞きが出来ます。）を含めて相談にのっており、より心地よく使用していただけるよう努力しております。

難聴でお困りの方は是非一度耳鼻咽喉科外来を受診してみてください。

【耳鼻咽喉科外来】